

# くいはらの大豆だより



令和2年10月23日発行  
宮城県栗原農業改良普及センター  
TEL 0228-22-9404

—令和2年度 第3号—

## 1 気象経過

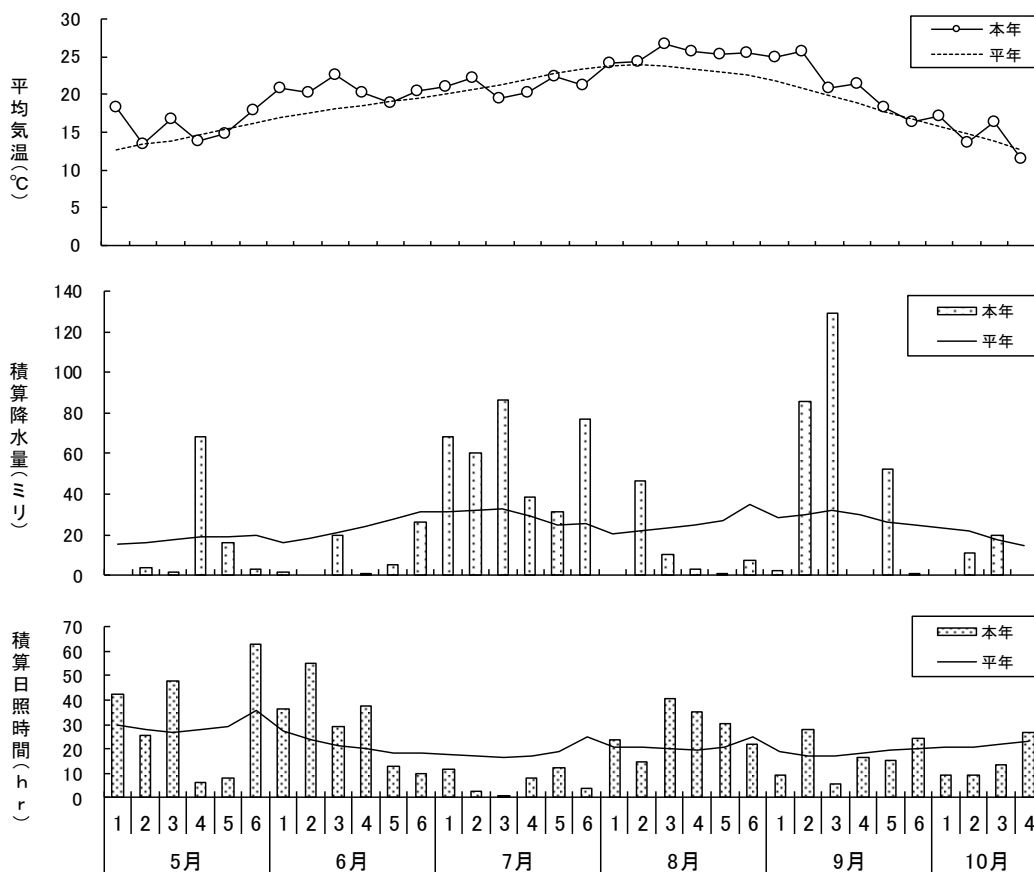


図1 5月から10月中旬までの気象経過

**【東北地方1か月予報】**（予報期間:10月24日～11月23日, 令和2年10月22日仙台管区気象台発表）  
平年と同様に晴れの日が多いでしょう。向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、多い確率40%です。

## 2 生育状況

タンレイは概ね成熟期に達し、ミヤギシロメは概ね落葉期を迎えています。

表1 生育調査ほ調査結果

品種 地域	播種期	開花期	9/1調査			成熟期
			主莖長	主莖節数	分枝数	
タンレイ 志波姫刈敷	本年値 6/3	7/31	92 cm	16.0 節/本	2.9 本/本	10/17
ミヤギシロメ 若柳三田鳥	本年値 6/2	8/10	90 cm	16.3 節/本	4.3 本/本	未
	前年値 6/2	8/8	101	17.2	3.6	10/31
	平年値 6/4	8/5	92	17.0	3.0	11/4

※タンレイは令和2年より生産者が変更となっているため本年値のみ。ミヤギシロメは10/22現在、成熟期に達していない。  
※平年差は、過去5年（H26,27,28,30,R1(H29除く））の平均値との差とする。

### 3 今後の管理 ～適期刈取りに向けて～

図2のチェック項目に留意して作業し、大豆の高品質化を目指しましょう。

- (1) 排水対策の最終確認 ほ場に停滞水があると子実水分が下がりにくく、収穫適期を逃すことがあります。排水溝や暗渠の最終点検を行いましょう。
- (2) 刈取時期の目安 子実に爪を立てて少し跡が残る程度になった頃、茎が手でポキッと折れるようになった頃です。
- (3) 汚粒対策 雑草や青立ち株は刈取前に抜き取りましょう。また、刈取時の土の掻き込みも大きな原因になるので、刈取高を約10cm以上に調整しましょう。露のある時間帯を避け、午前11時から午後4時頃に刈取りましょう。

<b>成熟段階</b>	<b>落葉期</b>	<b>成熟期 (完全落葉後 15~25 日)</b>	<b>コンバイン収穫適期 (成熟期後 10 日~)</b>
	葉や葉柄が黄変して落ちる、または手で触って簡単に落葉する。	茎や莢が品種特有の色に変化し、莢を振るとカラカラと音がする。	実際に収穫するとコンバインの後ろからほこりが立ち上がる。
	<b>茎水分 70%程度</b> 茎に緑色が残っている。	<b>茎水分 60%程度</b> 茎は莢と同色の褐色。	<input type="checkbox"/> 茎水分 50%以下か 茎がやや黒みを帯び、手でポキッと二つに折れる。茎の「ぬめり」がない。  <input type="checkbox"/> 穀粒水分 15~18%か 爪を立てて少し跡が残る程度  <input type="checkbox"/> 前日・当日に降雨はなかったか <input type="checkbox"/> 収穫は 11~16 時頃か
	<input type="checkbox"/> 排水溝や暗渠が閉まって（詰まって）いないか <input type="checkbox"/> 排水溝から水が逆流してこないか	<input type="checkbox"/> 雑草を抜き取っているか <input type="checkbox"/> 青立ち株を抜き取っているか	<input type="checkbox"/> 刈取高は地上 10cm 以上か

図2 大豆のコンバイン適期刈取りに向けたチェック項目

- (4) 収穫物の乾燥調製 収穫した大豆はなるべく早く乾燥調製を行いましょう。乾燥調製が遅れる場合は、①雨が当たらない、②風通しのよい、③直射日光が当たらない冷涼な場所に一時保管しましょう。  
保存時に大豆の水分が高い場合、腐敗粒やしわ粒等が発生し、品質低下を招く可能性がありますので注意しましょう。

**令和2年秋の農作業安全確認運動実施中!!**

**見直そう！農業機械作業の安全対策**

トラクター等走行中の転倒・転落事故防止！  
コンバイン作業時は段差、傾斜に注意！